

増 企 企 号
平成20年10月 6日

国土交通省道路局長 様

増毛町長 石 崎 大 輔



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

このことについて、別紙のとおり提出いたしますのでよろしくお願いします。

企画財政課長補佐 坂 口

TEL 0164-53-1111 (226)

Email : sakaguchi.isao@town.mashike.hokkaido.jp

①道路行政全般についての改善すべき点、要望や提案など

北海道増毛町

1 真に必要な道路整備として重視すべき点について

- 国内の各地方と地域が均衡ある日常住民生活や経済活動を継続できるように人及び物の安全な流通に必要な道路整備と景観に配慮した整備を基本とすべきではないか。

2 北海道の事情について

(1) 北海道における道路整備及び管理について、人口密度が全国最低の実情を考えた場合に道路整備の効率性や効果を単純に本州等の大都市圏と比較することは、益々地方格差を広げる施策につながるものと判断する。北海道の実情を十分に考慮して限られた道路財源を効率的に運用し整備を進めていくべきである。

- 高速公共交通機関の密度が低い北海道では、高速道路網の整備、ネットワーク化が重要であり、災害時や緊急輸送時に対処できる整備継続が必要である。
- 高速道路網の整備計画の中で未整備、未着手区間の計画については、将来的には整備して欲しいが、整備に長期間を要する場合は最低限必要な効果を早期に得られるよう既存道路の一部線形改良や拡幅などの当面の対策を検討されたい。

(2) 北海道内の高速道路（高規格道路を含む）、一般国道、主要道道、主要市町村道は、公共交通機関のネットワークが本州と比較すると営業採算面でのリスクも高く車に依存する割合が高い。北海道内の農水産物の流通や道民生活の向上、広域医療圏内の迅速な移動を確保するために必要不可欠なものとなっているが、自然災害や北海道の冬期間の厳しい気象条件がある中で安全、安心な利用を確保する整備が必要である。

- 冬期間の安全通行を確保するための防雪柵、防風柵、道路照明灯の増設。
- 主要幹線の冬期間除雪経費確保及び主要市町村道の除雪対策経費への支援。
- 地吹雪など悪天候時に緊急避難が可能な駐車場の確保（道の駅の防災拠点化）
- 安全な通行を確保するための防災事業や交通事故対策の整備促進

②-1 地域の現状と抱える課題

北海道増毛町

○現状 ① 国道231号線が札幌圏と直結する幹線道路であり、物資の流通、人の往来の面で重要な位置付けとなっている。 近年は、国道231号線を利用し道央圏からの観光客入り込みや道内観光のツアー客が4月から11月初旬にかけて多数訪れている。 ② 地元水産物の本州市場への出荷が増加し、輸送時間の短縮と効率的輸送体制が道路網の整備により進んできている。 ③ 道道増毛港線の改良工事（ふるさと歴史通り整備）を実施した結果、北海道遺産のPR効果も重なり、「旧商家丸一本間家」をはじめとするJR増毛駅前周辺の歴史的建造群を散策する観光客が増加している。また、歩道の改良により歩行者の安全が確保された。 ④ 地域医療の面で救急医療時の搬送には、高規格道路、国道、主要道道の依存するところが大きい。（第三次医療圏への通院や救急時の搬送） ⑤ 国道、道道の維持管理について、維持管理経費の削減により歩道や路側帯等の雑草の草刈等の維持作業が減り、道路景観を損なう実態となっている。	○課題 ① 本年5月の岩老地区の落石が発生し、危険であるとの風潮被害が懸念されます。観光客の入り込みの減少へ波及する恐れもあるので、一刻も早い抜本的な安全対策を望まれる。 また、地域経済の活性化のためには、都市との交流人口の拡大が不可欠であり、その移動手段で自家用車、バス等の車両に依存するところが大きく安全な通行が確保されることが本町にとっても極めて重要である。 ② 国道231号線の石狩市浜益区における高潮による通行止めが発生し、流通面で支障をきたすことがある。 また、浜益区濃屋の狭隘な赤岩トンネルの通行解消のための新しいトンネルの完成と通行が待たれる。 ③ 救急医療時の患者輸送面で留萌深川間の高規格道路の整備促進が地域にとって必要なインフラ整備であるため、留萌ICまでの早期開通が望まれる。 ④ 道路景観の保全のために草刈等の道路維持管理の予算の確保や経費削減に対処する維持管理の方法の検討が必要。
---	---

②-2 地域の目指す将来像

北海道増毛町

- 1 町民が安心して経済活動や定住できる基盤の構築のため、人に優しい街並みや住宅環境、地域間交流を広げる道路網の整備を図る。
- 2 経済的な基盤を築くため、生産基盤の整備や担い手の育成・確保を図り、地域特性を生かした、魅力あるたくましい農林水産業を展開するとともに、幅広い産業間の結びつきを強化しながら、地域の状況にあった商工業の振興や地域資源を活用した観光の形成を図るなど、活力みなぎる地域産業を創造する。

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

北海道増毛町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
総合的な安全対策	① 本年5月に起きた国道231号線岩老地区の急傾斜の落石防止対策 ② 国道231号線石狩市濃屋地区の赤岩トンネルの早期開通 ③ 国道231号線石狩市浜益区の高潮（高波）対策	① 防災対策の実施により、車両通行の安全性が確保され、地域経済の活性化につながり、危険箇所のある国道であるとの風評被害をなくし本町への交流人口の拡充が期待できる。 ② 現状の狭隘なトンネルであるため、トラック等の大型車両の交差に支障をきたしているが、新しいトンネルの開通により通行の安全性の確保と入り口での待機による停車が解消される。 ③ 荒天時に高波による通行止めが発生し、物流・交通に支障をきたすことが多く、越波防止や覆道整備などで通行車両の安全性を確保できる。	
地域活力の向上	① 留萌深川自動車道の整備促進	① 留萌地域の物流ルートとして、農水産物の輸送の安全性と迅速化が図られ、地域経済の活性化へつながる。また、災害や住民の救急医療時の搬送の利便性が確保される。 ② 地域間の移動時間が短縮され、都市部からの観光客等の交流人口の増加が見込まれ、留萌管内の周遊観光の活性化が見込まれる。	